

【イギリス】2014年度予算

海外立法情報課 岡久 慶

* 2014年3月19日に、2014年度予算が公表された。イギリス経済が回復の兆しを見せる中で打ち出された政策には、年金制度の改革、非課税貯蓄の上限引き上げなど、2015年の総選挙をにらんだ票田獲得のための政策が盛り込まれている。

2014年3月19日、2014年度予算が公表され、ジョージ・オズボーン(George Osborne)財務相は議会で予算演説を行った。本予算にはブルーカラー労働者層や高齢層に配慮した貯蓄及び年金の制度改革が盛り込まれ、2015年の総選挙を視野に、イギリス独立党に流れつつある保守党の伝統的支持層を取り戻す狙いも指摘されている(注1)。なお予算のテーマは前年度と同じく経済と財政、成長及び公平性の3つである。

1 経済と財政

イギリス経済はやや上向きの兆しを見せ、予算責任局は経済成長の見通しを2014年度については2.4%から2.7%に、2015年度は2.2%から2.3%に上方修正した。また公的部門の純債務の対GDP比率は、2015年度の78.7%をピークに縮小に転じるとの見通しが出されているものの、財務相が2010年に発表した「財務的使命」、すなわち2015年度に当該比率を縮小に転じさせるという目標には遠い。

こうした状況を踏まえ、政府は次の施策を打ち出している。

- (1) 2013年秋季財政演説で財務相は各省庁の2013-15年度にかけての支出を年間10億ポンド削減するとしていたが、これを恒久的なものとし、公務員年金の不足分を各省庁に負担させることで、合計年間20億ポンドの支出を削減する。
- (2) 年金と失業手当を除く2015年度の福祉手当の上限を1190億ポンドとする。

2 成長

変動する世界経済の中で、持続可能な経済成長を維持するため適切な事業環境を整えることを目的として、次のような施策が提案されている。

- (1) 一定の工場や機械への投資について年間50万ポンドを上限に即時償却を認め、最大490万の企業(内3/4はロンドン・イングランド南東部以外の製造業、農業関連)が工場や機材への先行投資に100%の軽減措置を受けられるようにする。
- (2) 輸出信用保証局による直接融資プログラム予算を30億ポンドに倍増し、金利を法的に可能なレベルまで切り下げる。
- (3) 2016年度から2019年度にかけての炭素税(注2)の上限を、排出される二酸化炭素1トンにつき18ポンドを上限に固定し、光熱費抑制によって製造業を支援する。
- (4) 2013年度に導入された、住宅購入代金の20%を限度とする政府の住宅担保融資の運

用期間を 2020 年 3 月まで 3 年間延長する。これによって住宅購入世帯数は 7 万 4000 からさらに 12 万増加する見込みである。

3 公平性

政府は、長期的な経済計画を公平性によって裏打ちするとして、特に勤労者家庭に報いるための措置を打ち出している。

(1) 所得税の基礎控除を 2015 年 4 月から 1 万 500 ポンドに引き上げる (2014 年 4 月現在 1 万ポンド)。受益者は 2540 万人で、開始段階で 320 万人が所得税を免除される。

(2) 2013 年の制度では貯蓄収入以外の収入が基礎控除の金額を下回り、さらに貯蓄収入が 2,790 ポンド以下の場合に限り、貯蓄収入への最低税率 10% (基本税率は 20%) の恩恵を受けることが可能だったが、2015 年 4 月からは貯蓄収入への最低税率を 0% とし、さらにこれの適用上限額を 5,000 ポンドに引き上げる。受益者は 150 万人、1 人あたり年間 150 ポンドの利益があると見込まれている。

(3) 利子や資産性所得が非課税となる個人貯蓄口座 (Individual Savings Account、ISA) の 2013 年度の上限は、預金で 5,760 ポンド、株式で 1 万 1520 ポンドである。双方併用の場合は株式の上限額は 1 万 1520 ポンドから現在の預金額を引いた額となる。2014 年 7 月からこれら 2 種類の ISA を統合し、上限を 1 万 5000 ポンドに引き上げる。預金口座で 500 万人、株式口座で 600 万人が利益を受けると見込まれている。

(4) 現在退職年齢に達した人の 75% が確定拠出年金の積立金を年金受給権購入に充てている。これは積立金が相当少ない場合でなければ全額引出しに 55% の課税がかかり、部分引出しについても引出し後に見込める年収額や引出上限額等について様々な制限が課せられているからである。政府は 2015 年に 55% の課税を通常の所得税基準に改め、その他の制限を緩和することで積立金の使途に裁量の余地を拡大する。

4 歳出及び歳入

歳出は社会保障費 2220 億ポンド等総額 7320 億ポンド (前年度 7200 億ポンド) となる。歳入は所得税 1670 億ポンド等総額 6480 億ポンド (前年度 6120 億ポンド) の見込みである。

注 (インターネット情報は 2014 年 4 月 18 日現在である。)

- (1) Nick Robinson, "Budget 2014: Osborne's challenge to UKIP", *BBC UK Politics*, 19 March 2014. <<http://www.bbc.com/news/uk-politics-26649158>>
- (2) Carbon price support (CPS). 化石燃料による発電に適用される税金で、イギリスの炭素最低価格 (Carbon price floor) は欧州連合域内排出量取引制度に基づく価格と CPS の合計値で算出される。Her Majesty's Revenue and Customs 解説ページ <<http://www.hmrc.gov.uk/climate-change-levy/carbon-pf.htm>>

参考文献

- *Budget 2014*, HC 1104, London: The Stationery Office, 19 March 2014. <https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/293759/37630_Budget_2014_Web_Accessible.pdf>